

# 九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和8年3月分：速報)

## <対世界>

- 輸出総額:1兆1,777億円(伸率:+0.0%) ⇒ 5か月連続のプラス
  - ・順位:2位、3月としては1位
  - 【順位は、昭和54(1979)年1月以降(567か月、3月は48か月)による。以下同じ。】
  - ・増加品目:半導体等電子部品(同+22.1%)、銅及び同合金(同+48.2%)
- 輸入総額:8,271億円(伸率:▲0.9%) ⇒ 2か月ぶりのマイナス
  - ・順位:44位、3月としては4位
  - ・減少品目:原粗油(同▲26.8%)、石油製品(同▲44.4%)
- 差引額:3,506億円(伸率:+2.3%) ⇒ 14か月連続の輸出超過
  - ・順位:1位
  - 為替レート:2026年3月:156.60円/ドル(2025年3月:149.55円/ドルと比べ4.7%の円安)

## <品目別動向>

### ○輸出

半導体等電子部品(1,360億円→1,660億円、伸率:+22.1%)は、香港(543億円→706億円、同+30.0%)及びベトナム(190億円→294億円、同+54.9%)向けが増加し、9か月連続のプラスとなった。

また、銅及び同合金(262億円→389億円、同+48.2%)は、インド(57億円→131億円、同2.3倍)及びタイ(20億円→37億円、同+79.8%)向けが増加し、3か月連続のプラスとなった。

一方、自動車(3,189億円→2,747億円、同▲13.8%)は、EU(421億円→106億円、同▲74.8%)及び中東(812億円→632億円、同▲22.2%)向けが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

### ○輸入

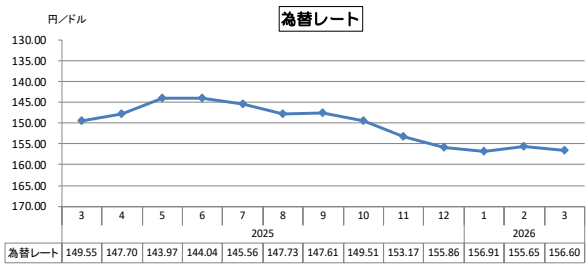
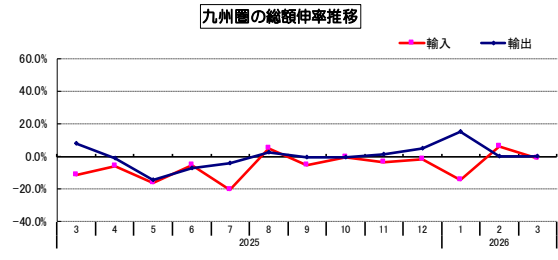
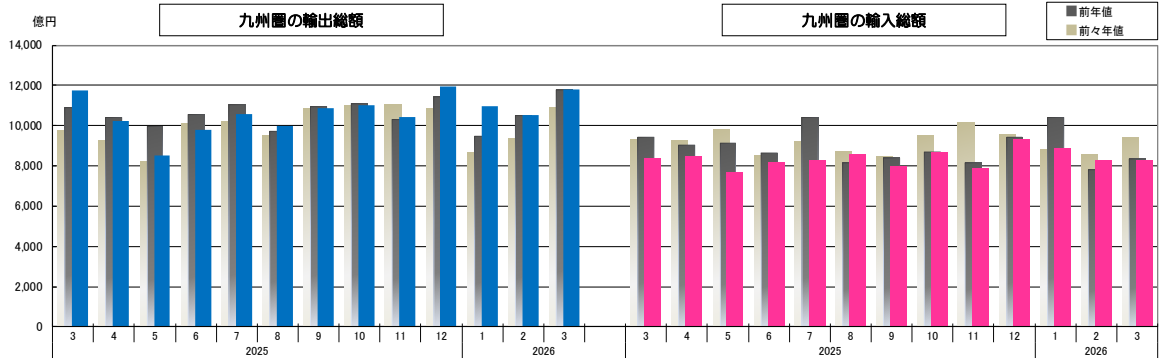
原粗油(200万KL→161万KL、伸率:▲19.3%、1,486億円→1,087億円、同▲26.8%)は、アメリカ(27万KL→実績なし、189億円→実績なし)及びクウェート(25万KL→1万KL、同▲96.0%、186億円→7億円、同▲96.5%)からが減少し、4か月連続のマイナスとなった。

また、石油製品(493億円→274億円、同▲44.4%)は、アラブ首長国連邦(181億円→56億円、同▲68.8%)及びバーレーン(55億円→実績なし)からが減少し、5か月連続のマイナスとなった。

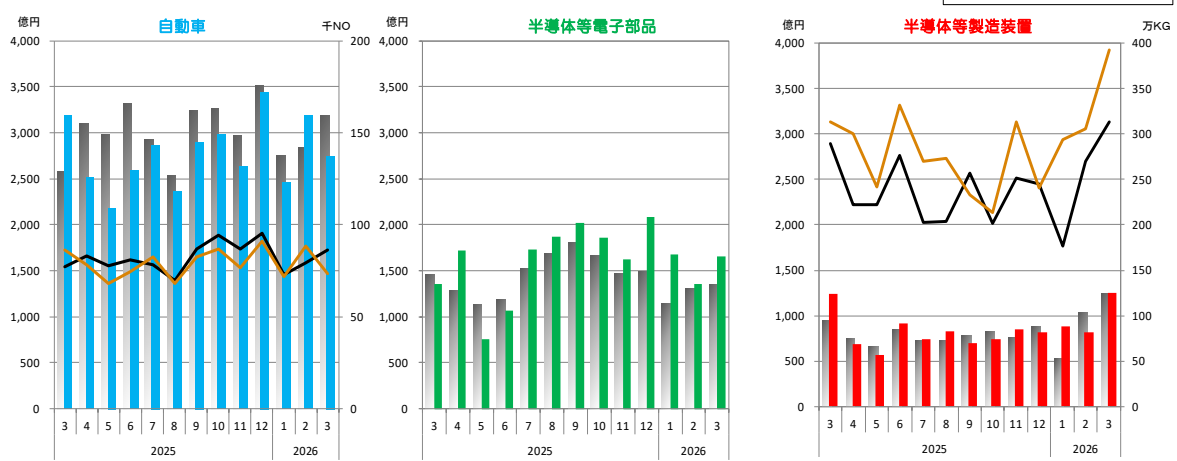
一方、石炭(251万MT→357万MT、同+42.2%、539億円→744億円、同+38.1%)は、オーストラリア(166万MT→250万MT、同+50.5%、349億円→538億円、同+54.2%)及びインドネシア(40万MT→66万MT、同+63.9%、78億円→122億円、同+56.9%)からが増加し、15か月ぶりのプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

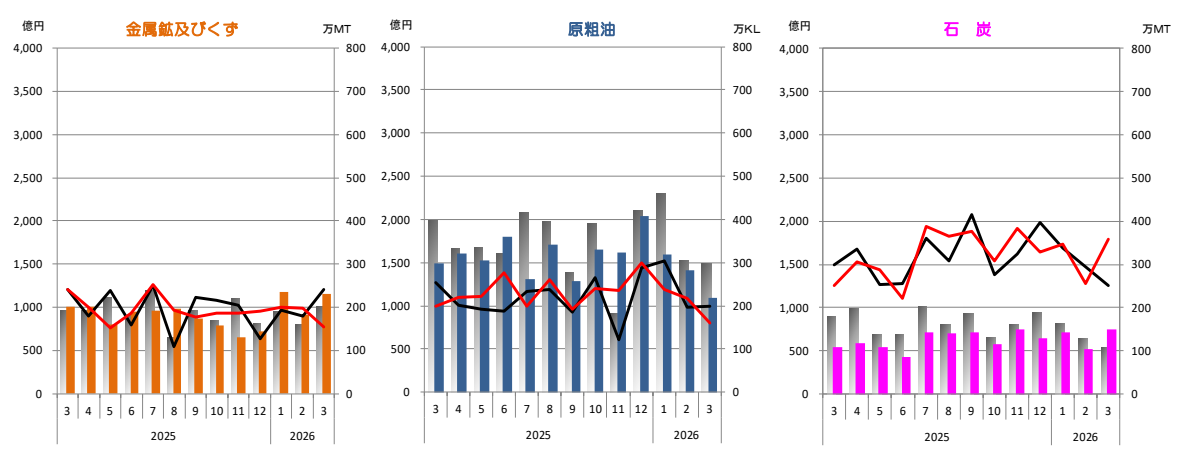
# 令和8年3月分：速報



## 九州圏の輸出主要品目推移



## 九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。